藩翰譜

十二下

伊地知文庫
文庫20
382
16

文庫20
382
16

藩

首尾合拾六卷

伊地知氏書册

富田

十二之下

信濃守源知信一名知時と云 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

稲葉

[illegible]人神谷道通と伊豫介道一陳の二男[illegible]二人道通と婚姻[illegible]

[illegible]道通に嫁するのみにて二男を四郎[illegible]

[illegible]の宗行[illegible]

[illegible]の軍に[illegible]彼の[illegible]

[illegible]村の所領伊勢国[illegible]

[illegible]

[illegible]し法ひて後ち四年の秋九泉大隅与[illegible]隅道通を
[illegible]の年記に薩川後の沖[illegible]
[illegible]と定すつくられ道通よりあひ中間に九泉ハ
[illegible]の年ハ[illegible]
[illegible]年の秋薩川後奥の上村退治あるべしとて九州四国
道通に使ふ[illegible]
おのゝ[illegible]
[illegible]
九泉大隅与[illegible]
[illegible]
攻落さんとすなり[illegible]
[illegible]

先是と焼掃りんとて軍を代[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

徳永

石見入道寿昌は初め越前の守護朝倉孫四郎義景に仕へ勝家の[illegible]
子伊賀守勝豊と家の老臣なり（勝豊は勝家の[illegible]）勝家勝豊等北ノ庄城に
籠りて秀吉石見守を遣はして降を勧めしに応じ
ず秀吉又勝家を攻めて秀吉と勝家と相戦ふ
勝豊病を称して出城せざりしかば秀吉の軍
勝家の軍を破りて勝家自刃す勝豊は秀吉に
降りて秀吉の軍に加はり賤ヶ岳の合戦に功あり
後勝家滅ぶるに及び石見守は秀吉の出家人なり
入道の後剃髪し卿法印と称す
天正十年の秋徳川家康と

上方の軍記にあるとゆめ〻〻同日の大合戦なり信州
小諸の城陥ふ所なり福島左衛門大夫正則宮城
[illegible]三月宮城初四日の合戦
[illegible]の事なり進ずる人の共
[illegible]ふ所あり[illegible]入道上洛の後同じ伝なるべし[illegible]
一説に謂て[illegible]彼の人と同じく海道をうつて
登りおのゝ城ふ到て後先日関ヶ原の城の在人今東京高輪
作ふ使ひて[illegible]三万石を[illegible]
[illegible]ハ[illegible]入道の[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西尾

豊後書源光教は出雲国信光より分れて石見国に光義より孫なり光義は三河の者西尾藤原[illegible]
[illegible]と号す光義の孫信光の男なるべしと伝へ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古田

兵部少輔藤原宗勝ハ一説ニ信勝と吉屋の庄司重勝と播磨国を二分して
攻の伐ものを播磨国三木の城主あり手配を二人の男子あり
嫡男ハ兵部少輔宗勝二男ハ大膳亮宗信と云ふ
初め秀吉に仕へ[三万七千石の領地]天正十八年の頃なり
文禄の秋宗勝御暇を願ひて帰国ふらるるの
同年冬宗信と共に朝鮮へ渡海し軍船にて石田治部少輔
三成加藤清正等の軍と海上にて戦ひ敗北して
宗信ハ重勝の弟なり兄弟共に朝鮮へ渡海
おのゝ数多の軍功あり軍兵千騎千四百人
内十騎ハ鉄砲を以て武装せり
信濃守勝義一万石を領し

世[illegible]元年[illegible]寛元の要害たるべき[illegible]五郎[illegible]
陽[illegible]又加[illegible]を道[illegible]の孫[illegible]
[illegible]れい[illegible]を[illegible]て自[illegible]と送る[illegible]の味方攻[illegible]
中の[illegible]て[illegible]
[illegible]年青[illegible]の切と[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古田

織部正藤原重勝と豊臣左内の侍家人なり重勝まゝハ三河守なりしも重勝ハ左内の婿なり父ハ豊後守重定と云て左内が住〻ける所の中〻嘉しく和歌を好み茶道の事ハ殊に左内のきてゝの中〻嘉しく和歌を好み茶道の事ハ殊に左内の師範なり又ハ左内の一族たりし云 其家系伝と云書ハ詳なり 其事ハ世人ハ茶道ハ武家の嗜なりと好きて平利休居士の門に入て茶道を好きし人にハ三河守と称し一世の宗匠と

なれハ付事の師範する人とハ称すと云ふ 其家系の弱ふ事ハ東の四方

して少れハ尚更行ふ所順逆多地なる 一説に元和元年の

夏の初大坂の城再び敗る事ハ敵ふ所なり

六月二日ふ向ひ出ふ 中の四日三日迄の舞踊

古田助左衛門の日の記なり

逝きぬる 戸田の所高とりふ 彼所ふ人数ふ

所家の中と云ふ大坂の城ばかりみきみ出とりふ

重勝長陣と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山陽

左馬允源家貞六代の孫三郎義家の
孫源四郎左衛門尉家行の子山陽入道憲西の後胤志摩守行家
男なりたしめ憲西家隆倉の大夫判官と仕へ近江国坂田郡
の地乃ふるさと又田中の入道河西三郎中ルより付後の孫お澤
山陽の祖父なりしく南朝の中興隆信卿の被官なりしく
ル志摩守行家の時一族後前後但馬守重の作家右馬の助
義風と為す然るに行家是と恨みしく南の御所方
形部卿宮義良親王南朝に向ひ奉りて出へ給ふ信長の
乃ふこと三年ありて元弘元年元亨元年
仕へしく南朝三国の御とと為りて移る所其去年東西
の軍一時に起りし時千早城の御下に南朝の味方たるか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

本多

[illegible]

[illegible]

[illegible]

松下

右京亮佐源吉濃ハ近江國の源氏佐々木源三郎兵衛尉高綱
四郎左衛門尉吉濃の父ハ美濃守元濃の末孫なり
豊臣右大臣初めハ秀吉の奴ふてまりしかり其後天下
の半ハ治ハ一方ハ[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]川[illegible]り安[illegible]の毛利ふ[illegible]と通して南[illegible]
こと〳〵く[illegible]の[illegible]藤安[illegible]
先[illegible]く[illegible]の伐[illegible]ふ軍[illegible]
くもの先[illegible]と七[illegible]
九[illegible]の[illegible]
[illegible]
十二年[illegible]
山陽道ふ[illegible]
[illegible]の安[illegible]
[illegible]一万[illegible]
[illegible]
[illegible]小[illegible]

宮[illegible]の[illegible]北[illegible]伊[illegible]
後の四[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
なる古戸合戦[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]家の孫関四郎伊勢の国より参りて居
住し代々の地人皆昔のはしを見る
事なく三年を経て四つ目なる音長見利なの事人なりし
四郎より河内の男なり時に神戸小作一二男
西府中より毛利元山廉徒元山年来住を仕来り
諸国の附属に見る事なく軍家此の方なる信に近廉河の国
の彩なく多く勲功の賞なる孫者国なる熱
田を中なる少三人と中なしに関八国流の時なりて
廉元山なる住神戸小河の曲の彩なり元山廉
の彩なり皆三利なの此多人たり関白秀吉の男毒蔵
なる信附なる一藤神戸前人なる世なり蔵信の二男
中なる清人の彩なる河なる蔵西及三男三七信世なる

神戸の家なる神戸大師と右蔵近の住人前なる右三信
なる世なる彩なり時なる世なる三信なる
の三なる昔信なの六角と合信なる宮なし中なり
なる是なる前なる彩なり毒信やなる入道なる万治寺と
世なる天正年の実信三七信なと大乃寺なる四郎の兄
なる河なる付附なる毒蔵の入道なる古云なる
なる百なる三七なる附なる世紀毒の彩なる
入道二人の男なり時なる如なる法師なる七なる
知なり比叡山なる参なる攻男小陽師なる久寺なる付なる小
田と勝家なる戦者間なり入道なる世なる年
此の家なる戸なる信なる石なる二人のなる
七なる同なる多小陽田なる家なる二男陽田なる

[illegible]
北蔵山の山[illegible]
[illegible]
[illegible]
右[illegible]
後[illegible]
[illegible]
関の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

板東

[illegible]平長房は平[illegible]軍頼朝[illegible]代の孫伯耆[illegible]光季の
後流也長房の祖父入十郎[illegible]利の父[illegible]
[illegible]
[illegible]

西の軍一揆を起す佐竹の人々の冊[illegible]を向ふ[illegible]
共信[illegible]信[illegible]者[illegible]の関東の[illegible]後天下
乗く[illegible]川[illegible]ふ[illegible]く乗[illegible]
四を四[illegible]凡[illegible]頃と[illegible]
六年常陸の外[illegible]小栗の[illegible]
[illegible]
[illegible]の首九切く[illegible]
[illegible]男[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

松倉

豊後国高崎城主 松倉豊後守重政 肥前国島原城主 松倉長門守勝家

右両人ハ慶長十五年十月廿五日ニ被仰付候

一 重政儀ハ慶長十四年ニ大和国ニ而五万石被下置候

一 勝家儀ハ慶長十五年ニ肥前国ニ而四万石被下置候

右両人共ニ天下之御為ニ被仰付候

一 重政儀ハ大和国ニ而五万石之内ニ而三千石之所ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

同陽寺政武と云よし浅野氏の[illegible]

九月十日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

坂倉藤助

出羽ちの三宅郡[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

戸川

肥後守藤原重安の故紀伊守重安の男也重安の又言書定
異生母は[illegible]の右衛門尉藤原国[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前田

[illegible]平信[illegible]島[illegible]市正[illegible]十二代の後裔[illegible]元久二年
[illegible]正[illegible]
[illegible]
[illegible]前田右[illegible]
[illegible]八[illegible]天神山[illegible]
[illegible]
[illegible]

是追用ヒトヤリ
北所司ノ字也
何ヒカ可ナルヤ

同大新九郎殿屋敷を名字の言葉利永孫三郎八月廿三日ふ死を
言利る実子無と只八同土佐守殿長慶弟 弟八同土佐守と云
氏康言利の訴訟ことく〻二人の男に法てかり 兄八長慶の時分に死
弟ハ氏康の養子 ふ八市郎次人の後新九郎殿屋敷を建と名字て天正
六年の末上杉浄心入道謙信率して後上総国沼田の城主房
方言氏康降る九郎殿氏政氏康の兄 同土新九郎殿屋敷を建去
て沼田をもつて氏康と氏是と恨みられ氏康の
子なりて氏政の弟たり 故新九郎殿屋敷を利りふなりおもて
是氏の訴訟の法るをさとりやまして沼田の城い氏康
降りを又言建ふ法ることを無の法をて利くを建よ
毒と建あてこ所に氏政ことくして言建孫法市信玄
して兄ヶ海を法て沼田の城主九郎殿屋敷氏康
毒の事ふ申の事ふ申の氏政氏康に信玄ヶ年れこふ海を信玄
言氏とふ申く恨て明れて天正七年来武田四郎勝頼ふ申と
合言氏ヶ兵の沼田の城ふ来一ヶ年まこりくとあ新て城
と建武田ふ言せたり 勝頼京法て城やて沼田の城とい城田
城房ふ思事ふ法の信玄言ふ沼田上年ふの三ヶ月ハ城房
城頂ふりく法の城金四千七百貫 武田能登守と言ふ上郡沼
田合四郎氏ふ能とかの思て移り住む 天正十年の末武田勝
ふ信玄の法ふ滝川左近将監一益上野国の守護ふ
厩橋の城ふ申の中ふ沼田滝川ふ居く沼田の城と中城
滝川軍兵を引つく守りとり 翌年二月信玄文言法
の滝川上言ふ申ふ武田能登守言信玄同頂ふ凡ハ
沼田の城法ふ滝川ふて沼田ふ言ふ

[illegible]
[illegible]
向ふ後なる[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の城を守り伝作の家人釋（リルて）馬井源寺知を所に止り佐和野
を出る出を乱し水戸の城を攻め入れ三信誅を二度釋る
秋高もくと出御して京をし給て波張むの家人をそ
御とく（釋る文を三人佐竹文を二人）水地豊和忠元を使として元利月を
ふりかるふ小袖三十領給て三信ふそ信を其後尚京の城
を守りまと安房国歌山の郷を明け大坂の軍敗しか
使を三信をたく夜を日本徳て独上て大御所の兵所と来
（此門赤備の者ハ武田勝頼ゟ来たる者多し其後佐渡を中ハ三元ゟ来たる者なり）
柳原を出ら羅城と号て大三年京向ハ敗て うつ うつもう石
し神ゟ二所ゟ ゟ不の ゟの ゟ首ゟ三ゟ下ゟ ゟ地ゟ 幽所
ゟ ゟ ゟ羅城 ゟ敗して後波泉の老ゟ ゟ ゟ ゟ 六月六日
美江の合戦に柳原ゟ ゟの軍 ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ三信 ゟ年八

にゟ所へ ゟ ゟ ゟ三信を ゟ変ゟ ゟ（掌 柳原の 三信陣ゟ 各 伊達ゟ）三信陣ゟ 各
ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ
ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ
き既の ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ
ゟ井原の ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ
ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ ゟ

竹中

丹後守重門ハ半兵衛尉重治の男之重治の父遠江ち系時
至て尚玄のち護沙爰山城守入道ハ三ヶ浦ち不破郡岩手の
城ち行ち重治いとなむ所のくして父ち附菩提ちの城ち立ち生年
十九才の時主の右兵衛大夫龍興を怨ち事 ありておのち三度信
十二人永禄七年三月八日の夜稲葉山の城を襲ひ元ち龍興い
幸ち命いまて落行 織田殿 由を聞あひ其後系くまたち
九月岐阜ち すとて ち 城ち中に ん
城他ち人小系ち 不願 ち 年 ち
一年 ち 龍興 ち 龍興 ち 年 ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月九日に卒す[illegible]法に豊後[illegible]庵内[illegible]の一伯父[illegible]流[illegible]
[illegible]人[illegible]竹中[illegible]竹中[illegible]
[illegible]
[illegible]

二四年安芸三郎左衛門の娘[illegible]
[illegible]の[illegible]娘より補[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

佐久間

備前守平安次の先祖は三浦介義明の一族たり鎌倉殿より代々佐久間の庄を給りしより佐久間を名乗てより中比の先祖本国を走て尾張国知郡に移り久右衛門尉盛次に至て織田氏に仕へ其子盛政柴田修理亮勝家の妹婿たり其男子六人の男子を設く嫡子玄蕃允盛政二男は備前守安次弟三男は右衛門尉勝政と名乗る四男は大膳亮勝元五男左兵衛尉勝平六男藏人勝友とぞ申す

其内柴田修理亮勝家の跡を継て亜相の位に昇り藏人として

[illegible]より分の戦より玄蕃允盛政中川瀬兵衛尉の孫を殺

て清秀（清秀は瀬兵衛尉）を打たる勝家敗北の為に盛政

[illegible]

英

金井勝政ハ歩兵[illegible]備前守毛利氏時久之弟
[illegible]

[illegible]

[illegible]

村上

周防守源義明始次郎右衛門と名乗り丹羽之郎兵衛尉長秀の家人にて出羽守秀吉に仕へ其後豊臣家に仕へ其後関白秀吉の命にて越後に下り国人を従へ城を築き城主となる

城主となり給ひ秀吉の家臣となり東照宮に謁し奉り給ひ

（以下略）

秀吉の命にて東照宮に移り給ひ慶長五年の関ヶ原の戦に敗れ給ひ九月中旬に村上に移り給ひ

（以下略）

慶長五年の関ヶ原の戦後の国の人々

川辺上杉中納言を退け給ひ

（以下略）

秀吉の命にて上杉景勝を攻め給ひ

（以下略）

村上等八郎の

国より[illegible]して上杉を[illegible]し此元ハ上杉傳[illegible]の[illegible]ハ
彼より公あるを[illegible]て城徒[illegible]中[illegible]記[illegible]薄口伯耆ヲ宣[illegible]等
[illegible]合セて家[illegible]ニ[illegible]たり[illegible]

[illegible]

家人[illegible]ハ[illegible]の妹[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

川辺の家の半法さ[illegible]の人[illegible]徳川反今
川氏と[illegible]の半[illegible]
[illegible]若矢なる[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

作人し家ゝのうりみさりし彼四条おさふ
と薄んそもれ作りき吉の家ふ生きたり分い
桃四郎心水郎兵衛ちき志二人用〳〵彼家の軍ちかを
出雲ちふとゝ出雲守彼御門度関白家さ〳〵ゝ
冥加の勅き伝らき〳〵事ふまつゝ敬正再の御門度ふ天事十八
年川漢の小保元〳〵は伝源の小義朝家りゝ彼松平の様
とを出雲粉ふと陸奥ゝる計る粉ふ久の男ゝり喜嘉元
康長ハ嫡子二男能登ちき三男内記ちき四男三郎左衛門尉定政ゝ事
ゝる粉ふ三年しゝ後立書元康長家と法師能登父新田と
ゝちふふ砦の戦ふちき事の時ゝて康長ふ内義度の
ゝ供〳〵ふ山道ゝ打ゝ参ゝ直義ふ勅ふ伊勢ゝて家の様
ふ立帰ゝる其ゝ長年八年十月十日康長羅ゝ流刑ふ義
ゝる是い大久保右衛門ちき長ふ彼能登ゝ剣業能登ふ長ふ彼能登ゝ
ゝる是い大久保右衛門ちき長ふ彼能登ゝ剣業能登ふ長ふ彼能登ゝ
代年代の新田義ふ別りる

康長ゝ彼能登ゝ参ゝ陸奥ゝ事ゝ敬正ゝ
出雲粉ふ彼能登ゝ参ゝ陸奥ゝ事ゝ敬正ゝ
出雲粉ふ彼能登ゝ参ゝ陸奥ゝ事ゝ敬正ゝ
而頃ゝ没収ちる見ゝ家ふ彼能登ゝ
又ゝ長ふ彼能登ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ
ゝ家ゝ事ゝ敬正ゝ

日根野

織部正藤原左衛門尉故國知の子孫[原文欠]の年号[原文欠]に[原文欠]
左関の[原文欠]府[原文欠]の[原文欠]の[原文欠]の[原文欠]の[原文欠]

成田

左馬允義家武勇を法性寺関白忠通公に聞召され義家の四男を任陸奥守義国の四男を任上野国情長を彩ゆゑ任ぜ給ふ義国の四男は為義四人の男子なり為義の四男は為朝と名乗二男は別当三男は左馬頭四男は新宮十郎と名乗て是おう子孫は世の人尊敬の四男なりと申しける是は十郎の作り名にて熱田の宮司別当中を宮司

（注：ちなみに熱田神宮は尾張国の一宮なり）

祖父法入道宮遍り世を捨て熱田の社に籠り給ふ源氏の乱る所にて近隣を付なびけ給ふ弱き人の乱る所にて近隣の法師共長田庄司の娘を婚姻し給ふ入道宮の娘を婚姻し給ふ長田庄司と云ふ者は一千騎上洛の東国と云ふ所に一代の大名なりける故に婚姻の北條の親ゆゑ上洛の時元服長男故の

[illegible]の海を志さして上杉謙信を[illegible]
北陸を討入とて永禄三年の春忽ち謙信を恨り年
[illegible]北陸に[illegible]
[illegible]の[illegible]四尾と[illegible]
て攻[illegible]長原うつ向[illegible]
[illegible]四尾の城に押寄せ
[illegible]長原[illegible]
[illegible]力[illegible]
[illegible]
長原[illegible]
小松[illegible]
[illegible]
[illegible]

年[illegible]
[illegible]
[illegible]

セ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

四百年間と為て家此に至る佐竹氏攻伐の間に
[illegible]一族存長五百年間と月見一小田原の城を攻
[illegible]石高[illegible]三郡と呼[illegible]
[illegible]軍勢思の限ふ押寄せ[illegible]
[illegible]の名[illegible]
[illegible]
[illegible]

らき城中ふかくの[illegible]武田武士
今は誰とか[illegible]軍をしつへきけみ武士の[illegible]
ゆへしいそ作り[illegible]武田[illegible]
[illegible]武田[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

佐野

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝ[illegible]ゆけゝ馬[illegible]を[illegible]佐渡の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

雄親一本作雄親トス

澁川 木造

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時貞の孫なり〜貞敏の弟なり　信長代陣と伺ひ〜現常院と事問ふと云
伊勢国へ発向〜本造と伺ふ〜北畠と伺ふ現常院
北〜還住〜滝田殿の侍大将滝川伊豫守一益の嫡男左近
将監〜名字を滝川左近将監と名乗る滝川一益者義家朝臣の後三年
の戦ひ功し伴の源三郎陳状の後
世代〜伊勢国桑名郡長島住人守護六角入道の縁者なり
住せ〜云ふ然ハ是伴氏なり今滝川の家系代々の世代なり
自然江ハ信長より命ぜ〜て中興し彼二男茶釜丸家
譲り〜ハ〜て〜信長彼滝川家補佐滝川左近将監
二人同〜中興の功ある〜故〜三郎左衛門尉
元亀二年の春自然我慢ハ〜ハ〜ハ〜三年
の春元亀三年伊勢の国司北畠殿名字も三郎左衛門尉彼名の字を
推戴〜名乗る北畠殿文雅武勇の人　四年の春信長自然と手〜小国の
一族事〜二月〜伊勢の国と大事の国〜信雄ハ渡り

三郎左衛門尉叙爵〜〜中略〜〜ふなり　二年の春伊勢国の
住人福地の伊賀滝田殿と通〜〜尚国の事門住ん〜
原〜信長まづ彼国と信雄ハ治ハ軍勢〜〜ハ〜ハ〜ハ〜
中略〜九月の秋治〜南国〜手〜〜同〜十年の春
滝田殿ハ〜〜ハ〜伊賀の侍大将信雄ハ戦〜〜
討〜〜〜ハ〜中略〜〜中略〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
北〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
の〜伊賀国事〜〜信雄ハ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
平〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]年十月廿日秀吉信雄中直して成
[illegible]
[illegible]十三年の夏関白秀吉四国の発足ありて後伊
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三友堂

維時萬延元庚申歲次初隻中浣吉日

兎原性三文堂藏本